

安全データシート

改訂日:2022年7月1日
Rev.3

1 化学品及び会社情報

【化学品の名称】

製品名 (製品番号) : AU デタージェント (アルカリ) (MS028400/MS029700)

シリーズ : AU シリーズ

【提供者の情報】

会社名 : ベックマン・コールター株式会社

住所 : 〒135-0063 東京都江東区有明三丁目5番7号 TOC 有明ウエストタワー

担当部門 : 品質・薬事統括部門

電話番号 : 0120-566-730

2 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

- ・皮膚腐食性/刺激性 区分1 (H314)
- ・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 (H318)
- ・発がん性 区分2 (H351)
- ・特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分2 (H371)

環境に対する有害性

- ・水生環境有害性短期 (急性) 区分3 (H402)

上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- H314 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
H318 重篤な眼の損傷
H351 発がんのおそれの疑い
H371 呼吸器の障害のおそれあり
H402 水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱い後は手、眼をよく洗うこと。
- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。
- ・環境への放出を避けること。

【応急措置】

- ・眼に入った場合
: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・皮膚 (又は髪) に付着した場合
: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水 (又はシャワー) で洗うこと。
- ・飲み込んだ場合
: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・吸入した場合
: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・特別な処置が必要である。(この SDS の 4. 応急措置を参照)
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合
: 直ちに医師に連絡すること。医師の診察/手当を受けること。

安全データシート

製品名: AUデタージェント(アルカリ)
 製品番号: MS028400 /MS029700

Rev.3

| | |
|------|----------------------------|
| 【保管】 | ・ 容器を密閉して保管すること。 |
| 【廃棄】 | ・ 内容物／容器を法定廃棄物処理業者に廃棄すること。 |

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

成分情報

| 化学名 | 化学式 | CAS 番号 | 含有量 | 官報公示 整理番号 |
|-----------------------|--|------------|-----------|-----------------------------------|
| 水酸化ナトリウム | NaOH | 1310-73-2 | 1~5 w/v% | 化審法番号 (1) -410 安衛法番号 319 |
| ポリオキシエチレン アルキルエーテル | RO(CH ₂ CH ₂ O) _n H | 84133-50-6 | 5~10 w/v% | 化審法番号 (7) -97 |
| ニトリロ三酢酸三ナト リウム一水和物 | C ₆ H ₆ NO ₆ Na ₃ · H ₂ O | 5064-31-3 | 1~5 w/v% | 化審法番号 (2) -1277 |

4 応急措置

| | |
|------------------|---|
| 吸入した場合 | : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 直ちに汚染された衣服を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。 |
| 目に入った場合 | : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 |
| 飲み込んだ場合 | : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。医師の診断、手当てを受けること。 吸入: 灼熱感、咽頭痛、咳、息苦しさ、息切れ。症状は遅れて現れることがある。 |
| 予想される急性症状及び遅発性症状 | : 皮膚: 発赤、痛み、重度の皮膚熱傷、水疱。眼: 発赤、痛み、かすみ眼、重度の熱傷。経口摂取: 灼熱感、腹痛、ショック又は虚脱。 |
| 応急処置をする者の保護 | : 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。 |
| 医師に対する特別注意事項 | : 症状は遅れて発現することがあり、過剰にばく露したときは医学的な経過観察が必要である。 |

5 火災時の措置

| | |
|---------------------|--------------------------------------|
| 適切な消火剤 | : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂、水噴霧 |
| 使ってはならない消火剤 | : 特になし。 |
| 特有の危険有害性 | : 燃焼ガスには有毒ガスが含まれるので、消火作業の際は煙の吸入を避ける。 |
| 特有の消火方法 | : 消火作業は風上から行うこと。 |
| 消火を行う者の特別な保護具及び予防措置 | : 消火作業の際は風上から行き、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。 |

6 漏出時の措置

| | |
|----------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 | : 作業の際には、保護具（メガネ、手袋など）を着用し、飛沫等が眼、皮膚や衣服に付着しないようにする。 |
| 環境に対する注意事項 | : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。環境中に放出してはならない。 |

安全データシート

製品名: AUデタージェント(アルカリ)
製品番号: MS028400 / MS029700

Rev.3

| | |
|-----------------|---|
| 回収・中和 | : 乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて密閉できる空容器に回収する。アルカリ性製品のため、酸（希塩酸など）で中和する。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | : 危険でなければ漏れを止める。漏洩エリア内で稼働させる設備・機器類は接地する。 |

7 取扱い及び保管上の注意

| | |
|-----------|--|
| 取扱い | : 推奨する保護具を着用し、飛沫等が眼、皮膚や衣類に付着しないように慎重に取り扱う。 |
| 技術的対策 | : 本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。眼および皮膚への接触を避ける。作業場の換気を十分に行う。 |
| 注意事項 | : 容器を転倒、落下させる等、衝撃を加える乱暴な取扱いをしてはならない。 : 直射日光を避け、室温で密閉して保管する。 |
| 安全取扱注意事項 | : すべての安全注意を読み理解するまでは取り扱わないこと。保護手袋 保護眼鏡または保護面を着用すること。取扱い後は眼、手をよく洗うこと。 |
| 安全な保管条件 | : 酸性物質と一緒に保管しない。直射日光を避け、室温で密閉して保管する。 |
| 安全な容器包装材料 | : 推奨 ポリエチレン、ポリプロピレン : 不適切 銅、アルミニウムを材質とした容器 |
| 接触回避 | : 高温体との接触を避ける。 |
| 衛生対策 | : この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。保護具は定期的に点検する。 |

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

| 化学名（一般名） | | 水酸化ナトリウム | ポリオキシエチレンアルキルエーテル | ニトリロ三酢酸三ナトリウム水塩 |
|------------------------|----------|---|-------------------|-----------------|
| 管理濃度 | | 設定されていない | 設定されていない | |
| 許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標） | 日本産業衛生学会 | 最大許容濃度 2 mg/m ³ (2009年度版) | 設定されていない | |
| | ACGIH | TWA 設定されていない STEL 2 mg/m ³ (2009年度版) | 設定されていない | |

保護具 保護メガネ、ゴム手袋及び状況に応じて保護衣、ガスマスク等。

9 物理的及び化学的性質

| | | | |
|-----------------|---------|--------------------|------------------|
| 物理的状态 | : 液体 | pH | : 11.1~12.1 (1%) |
| 色 | : 微黄色透明 | 動粘性率 | : データなし |
| 臭い | : 特異臭 | 蒸気圧 | : データなし |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | : データなし | 密度及び ρ 又は相対密度 | : 1.076~1.086 |
| 爆発下限及び爆発上限界可燃限界 | : データなし | 密度 | |
| 引火点 | : データなし | 相対ガス密度 | : データなし |
| 自然発火点 | : データなし | 粒子特性 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし | | |

安全データシート

製品名: AUデタージェント(アルカリ)
製品番号: MS028400 /MS029700

Rev.3

10 安定性及び反応性

| | |
|------------|---------------------------|
| 反応性 | : アルカリ性のため、酸と接触すると反応する。 |
| 化学的安定性 | : 通常の取扱い条件においては安定。 |
| 危険有害反応可能性 | : 強酸化剤と反応する。 |
| 避けるべき条件 | : 加熱、直射日光 |
| 混触危険物質 | : アルミニウム、チタン、亜鉛、及びそれらの合金。 |
| 危険有害な分解生成物 | : データなし。 |

11 有害性情報

| | |
|-----------------|---|
| 急性毒性（経口） | : 計算式より ATE 値を求めた結果、推定値 LD50=5,000 mg/kg 以上であることから区分に該当しない。 |
| 急性毒性（経皮） | : データ不足のため分類できない。 |
| 急性毒性（吸入：ガス） | : 区分に該当しない（混合物として液体である）。 |
| 急性毒性（吸入：粉塵、ミスト） | : データ不足のため分類できない。 |
| 皮膚腐食性／刺激性 | : GHS 分類の結果、区分 1 とした。 |
| 目に対する重篤な損傷性／眼刺激 | : GHS 分類の結果、区分 1 とした。 |
| 性呼吸器感受性 | : データ不足のため分類できない。 |
| 皮膚感受性 | : データ不足のため分類できない。 |
| 生殖細胞変異原性 | : データ不足のため分類できない。 |
| 発がん性 | : GHS 分類の結果、区分 2 とした。 |
| 生殖毒性 | : データ不足のため分類できない。 |
| 特定標的臓器（単回ばく露） | : 特定標的臓器（単回ばく露）物質区分 1 を 1~10% 含むため区分 2（呼吸器）とした。 |
| 特定標的臓器（反復ばく露） | : データ不足のため分類できない。 |
| 誤えん有害性 | : データ不足のため分類できない。 |

12 環境影響情報

| | |
|---------------|-----------------------|
| 生態毒性 | |
| 水生環境有害性短期（急性） | : GHS 分類の結果、区分 3 とした。 |
| 水生環境有害性長期（慢性） | : データ不足のため分類できない。 |
| オゾン層有害性 | : データ不足のため分類できない。 |

13 廃棄上の注意

| | |
|----------|--------------------------------|
| 残余廃棄物 | : 内容物／容器を法定廃棄物処理業者に処理を委託すること。 |
| 汚染容器及び包装 | : 内容物を完全に除去し法定廃棄物処理業者へ処理を委託する。 |

14 輸送上の注意

| | | |
|---------------|---------------------|---------------------|
| 品名 | : ポリオキシエチレンアルキルエーテル | : 水酸化ナトリウム |
| 国連番号 | : 非該当 | : 3267 |
| 国連分類 | : 非該当 | : クラス 8（腐食性物質） |
| PACKING GROUP | : データなし | : PG II Pkginst 855 |
| 海洋汚染物質 | : データなし | : データなし |
| 注意事項 | 国内規制 | |
| | 陸上規制 | 消防法、毒劇物法、道路法の規定に従う。 |
| | 海上規制 | 船舶安全法、港則法などの規制に従う。 |
| | 航空規制 | 航空法の規制に従う。 |

安全データシート

製品名: AUデタージェント(アルカリ)
製品番号: MS028400 /MS029700

Rev.3

15 適用法令

| | |
|------------------------|--|
| 毒物及び劇物取締法 | : 非該当 |
| 労働安全衛生法 | : 第57条の2通知物質319 水酸化ナトリウム |
| 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) | : 第1種指定化学物質 407 ポリ(オキシエチレン) =アルキルエーテル (C=12~15 及びその混合物に限る) |
| 消防法 | : 非該当 |
| 水質汚濁防止法 | : 一律排水基準その他項目水素イオン濃度 (第2条第2項第2号) 海域以外の公共用水域に排出されるもの 5.8 以上 8.6 以下 海域に排出されるもの 5.0 以上 9.0 以下 指定物質 (第2条第4項) 水酸化ナトリウム |
| 海洋汚染防止法施行令 | : 有害液体物質 Y 類物質 |

16 その他の情報

引用文献

GHS 分類は JIS Z7252 (2019) JIS Z7253 (2019) に準拠しています。*JIS : 日本工業規格

改訂日

2022年7月1日 (作成日 1997年11月20日)

注意

ベックマン・コールター社はここに記載した内容について有効かつ正確であると考えていますが、有効性、正確性あるいは通用性を保証、もしくは明言するものではありません。当社はこの内容又は製品の使用に関し、法的責任もしくは他のいかなる責任を負うものではありません。また、危険有害物質の廃棄は地域ごとの法律、規則に規制されることがあります。

詳細については最寄りのベックマン・コールター株式会社営業所までお問い合わせください。